

施策評価シート(平成29年度)

(基本施策の大綱) 6. 行政経営

(基本施策) (2)財産・情報の適正な管理・活用

(評価担当者)

総合政策部長 山本 伸治

■基本施策が目指す姿

市の財産と情報が、適切に管理されています。

■関連する分野別計画

亀山市ICT利活用計画、亀山市公共施設等総合管理計画

■成果指標

	単位	現状値		実績値					目標値	
				H29	H30	H31	H32	H33		
1	施設の統廃合を決定した公共施設数(累計)	施設	—	H28	2					3
2	オープンデータの公開データセット件数	件	0	H28	0					20
3										
4										
5										

■市民アンケート調査

項目		現状値 [H27]	1次 [H30]	2次 [H32]	市民アンケートの考察
1	市の窓口やサービスが利用しやすい	重要度	1.40		
		満足度	0.14		
2	行政情報を市民が入手しやすいしくみが整っている(再掲)	重要度	0.97		
		満足度	▲ 0.08		
3		重要度			
		満足度			
4		重要度			
		満足度			
5		重要度			
		満足度			

■総合評価

総合判定	左記の総合判定とした理由
B	行政情報の適切な管理では、亀山市ICT利活用計画に基づく市の基幹となる行政情報システムのクラウドコンピューティング運用の開始をはじめ、行政情報管理に関する職員研修の実施、行政情報のオープンデータ化の推進に向けた今後の方向性の検討等を行ったが、公開までには至らなかったこと、また、公有財産の効率的・効果的な活用では、公共施設等総合管理計画の基本方針に沿った個別施設計画の策定に取り組んだものの、策定にまでは至らなかったことから、それぞれ個別判定をBとしている。新庁舎建設の推進では、現庁舎の課題・問題点の洗い出しと整理を行うなど順調に進んでいることから、個別判定をAとしている。これらのことから、基本施策が目指す姿である「市の財産と情報が、適切に管理されている」に向けまずまず進んでいることから、総合判定をBとした。

反省点・課題

行政情報の適切な管理に関し、公文書管理における收受・起案から廃棄に至るまでの各段階に応じた現状把握や課題整理等を更に進めるとともに、行政情報のオープンデータ化の早期データセットやマイナンバーカードを活用した行政サービスの提供について具体的な取り組みを図る必要がある。また、公共施設等総合管理計画の個別施設計画は、国から平成32年度末までの策定を要請されているが、本市では平成30年度中の策定を目指しているため関係部署との早期の調整が必要である。更に、新庁舎建設では、新庁舎に必要な機能や規模など現庁舎の課題・問題点などを整理しながら、事業の推進を図る必要がある。

今後の展開方針

行政情報のオープンデータ化は開かれた行政運営から必要不可欠であり、早急を実施していく。また、行政情報の適切な管理については、亀山市ICT利活用計画(実施計画)の着実な推進、並びに公文書のライフサイクル(收受から廃棄まで)に応じた課題整理と改善方針の検討を行っていく。また、公有財産については、施設の統廃合などの具体的な計画を検討し、効率的・効果的な活用及び維持管理に努める。また、新庁舎の建設については、平成30年度に基本構想を、平成31・32年度に基本計画の策定を行う。

(施策の方向に関する評価)

施策の方向① 行政情報の適切な管理						
(個別判定)	活動	【施策に対し、どのような取り組みを行ったか】	評価	【左記の活動により、施策は推進できているか】		
B		【施策に対し、どのような取り組みを行ったか】 亀山市ICT利活用計画に基づき、行政情報のセキュリティ強化のため、市の基幹となる行政情報システムのクラウドコンピューティングによる運用を開始するとともに、行政情報のオープンデータ化に向け、今後の方向性の検討を行った。また、情報セキュリティ研修、マイナンバー取扱者研修、個人情報保護制度等実務者研修を実施し、行政情報管理の職員意識の向上に努めた。		【左記の活動により、施策は推進できているか】 基幹行政情報システムのクラウドコンピューティングへの移行や行政情報のオープンデータ化の推進、個人情報・公文書の取扱い等について、一部検討段階にあるものもあるが、概ね順調に進めることができたことから、行政情報の安全性の確保や活用、職員意識の向上について、施策推進が図れている。		
関連事業	番号	事務事業の名称	区分	予算額/決算額 [千円]	活動	成果
	17102	行政情報システム事業(住民情報系)	主	102,464 / 102,430	B	B
	17103	行政情報システム事業(内部情報系)	主	42,652 / 42,642	B	B
	2128	行政情報化推進研修事業	標	2,331 / 2,331	B	B
事業以外の取組	内容				活動	成果

施策の方向② 公有財産の効率的・効果的な活用						
(個別判定)	活動	【施策に対し、どのような取り組みを行ったか】	評価	【左記の活動により、施策は推進できているか】		
B		【施策に対し、どのような取り組みを行ったか】 公共施設等総合管理計画の基本方針に沿って個別施設計画の策定に向け、行財政改革管理委員会を開催するとともに、関係部署へ個別にアテンドを行った。		【左記の活動により、施策は推進できているか】 本計画の基本方針に沿って個別施設計画の策定を進めることで、個別施設のあり方について検討を行う機会が増え、幼稚園・保育所の再編や市営住宅の統廃合など具体的な検討が行われるなど、効率的・効果的な施設の維持・管理に向け検討が進んでいる。		
関連事業	番号	事務事業の名称	区分	予算額/決算額 [千円]	活動	成果
				/		
				/		
事業以外の取組	内容				活動	成果
	個別施設計画策定に向けての協議				B	B

施策の方向③ 新庁舎建設の推進						
(個別判定)	活動	【施策に対し、どのような取り組みを行ったか】	評価	【左記の活動により、施策は推進できているか】		
A		【施策に対し、どのような取り組みを行ったか】 現庁舎の課題・問題点について、各部署への調査によって洗い出し、それをもとに部長級会議において意見交換を行った。また、行政機能の集約化に対して、関係部署へのヒアリングを行い、メリット・デメリットを整理した。一方、庁舎建設基金は着実に積み立て、基金残高は11億円となった。		【左記の活動により、施策は推進できているか】 現庁舎の課題・問題点の整理を計画どおり行ったことで、平成30年度に策定する基本構想に繋げることができ、新庁舎建設に向けて順調に準備ができている。		
関連事業	番号	事務事業の名称	区分	予算額/決算額 [千円]	活動	成果
	12018	庁舎建設基金積立事業	標	50,000 / 50,000	A	A
				/		
事業以外の取組	内容				活動	成果
	現庁舎の課題・問題点の整理				A	A